

# 理科

## 出題の傾向

本年度も例年同様、物理・化学・生物・地学の各内容からそれぞれ大問を一題ずつ出題しました。いずれも基本的な内容を中心に出题していますが、教科書に出ている重要語句や基本事項の理解度を試しています。一部に考え方を重視した応用問題も出題していますが、基本的内容を土台とした学習を積み重ねることによって解ける問題になっています。

例年、各分野の最終章である「科学技術と人間」「科学技術と私たちの生活」「自然と人間」などの章からは出題していません。

## 2016 今年度の出題と解説

今年度は、昨年度よりも全体的によくできていました。

①は化学分野から、化学反応の量的関係に関する問題を出題しました。基本的な問題（問1～4）はよくできていましたが、与えられた資料から物質どうしの反応の比を見つけ、それを使って考える問題（問6～8）の正答率がよくありませんでした。また、グラフの作成（問5）は、丁寧な練習をもう少しする必要があるように思いました。

②は生物分野から、セキツイ動物の分類に関する問題を出題しました。基本的な語句を問う問題（問1、3）を中心に、全体的によくできていましたが、漢字の間違いや、言葉を正しく覚えていないと思われる解答が目立ちました。教科書をよく読み、言葉は正確に覚えましょう。セキツイ動物の進化に関する問題（問7）は、あまりできていませんでした。教科書にある図にも注意を払ってよく見ておきましょう。

③は地学分野から、地震に関する問題を出題しました。この問題も基本的な語句を問う問題（問1～3）を中心によくできていました。しかし、グラフで表されている内容を読み取る問題（問6、7）はあまりできていませんでした。

た。教科書にあるグラフをよく見て、何が表されているかを普段からよく考えるようにしましょう。

④は物理分野から、道具を使った仕事に関する問題を出題しました。滑車を使った仕事に関する問題（問1～5）はたいへんよくできていましたが、輪軸を使った仕事に関する問題（問6～10）はあまりできていませんでした。慣れていないからだと考えられますが、てこを思い出せば答えは見つかるようになっていきます。このように、知っている知識を見慣れないものに活用して考える事も大切なことです。普段の勉強の中で、積極的に予習をすることで、そのような力も身につけましょう。

どの分野も、教科書レベルの問題から発展的なレベルまでを出題しています。基礎を重視した学習は言うまでもありませんが、計算練習や反復学習などの取り組みが必要です。

## 対策と アドバイス

- ・教科書に書かれている基本的内容を理解した上で、しっかり覚えましょう。正しい表現ができるように、教科書の文をそのままノートに書き写して、何度も読み直して覚えてください。
- ・教科書にある図・写真・表を見るだけでなく、それらが示すことをしっかり理解しましょう。疑問があれば、すぐに調べたり、先生に質問したりして、さらに理解を深めておきましょう。
- ・定期テスト・実力テスト・単元テストなどのやり直しをしましょう。そのとき、何かの資料を見て解いた問題はできたつもりにならないように、何も見ずに解けるまで繰り返しやり直しをしましょう。
- ・基本的なレベルの問題を数多く解きましょう。
- ・正しい漢字を書けるように、重要語句は何度も書いて覚えましょう。
- ・落ち着いて問題文を最後まで読み、答え方のミスなどがないようにしましょう。
- ・化学式は記号の大文字・小文字をはっきり区別できるように、正しく書いて覚えましょう。
- ・実験には積極的に参加して、器具の正しい使い方を身につけましょう。
- ・計算問題はできるまで繰り返し、苦手意識を克服しましょう。